

院長ごあいさつ



地方独立行政法人奈良県立病院機構
奈良県西和医療センター院長
土肥 直文

新緑の季節を迎えましたが、皆さまはいかがお過ごしでしょうか？さて、今号のテーマは「心房細動」という不整脈についてです。比較的若い方にも起こることがある不整脈ですが、年齢を重ねるとその罹患率が高くなることが分かっています。心房細動は、その名の通り、心臓の部屋である心房がブルブルと震えることが特徴の不整脈で、実際に脈拍がバラバラになります。この心房細動が起きると何が不都合なのでしょう？震えるようにブルブルと動く心房の中で血液がよどみ、ゼリー状の血の塊（血栓）ができ、それが流れて脳の血管に詰まってしまうことが問題なのです。これを脳梗塞といい、寝たきりの原因となります。今回は、当センターの循環器内科で不整脈治療を専門としている大西里奈医師が、分かりやすく心房細動の新しい治療法（カテーテルアブレーション治療のなかでも特にパルスフィールドアブレーションという新しい方法）について解説しています。安全性において特に優れた、このパルスフィールドアブレーションによる治療が、今は世界の主流となっています。高周波や冷却アブレーション治療と比較しても、心臓の組織に対する安全性が飛躍的に高く、アブレーションを専門とする医師には欠かせない治療法になっています。当センターでは、このパルスフィールドアブレーションに特に力を入れており、世界で使用されている代表的な3種類のカテーテルを駆使して、治療にあたっています（3種類すべてを使用できる施設は県内でも限られています）。また、この治療に関わる医師以外のスタッフが書いた関連記事も是非、お読みください。皆さまやご家族の健康の維持にこの記事が参考になれば、執筆したスタッフの皆にとりましても嬉しいかぎりです。これから、夏の暑い日々がやってまいります。体調にはくれぐれも気をつけてお過ごしください。

令和8年5月

新任医師紹介

令和7年10月1日付

産婦人科
医長



もりた さゆり
森田 小百合

令和8年1月1日付

脳神経外科
医員



ふくなが もとき
福永 幹

泌尿器科
専攻医



かわしま りょうたろう
川島 遼太郎

外科・消化器外科
専攻医



おざわ きょうへい
小澤 享平

令和8年1月1日付

令和8年4月1日付

外科・消化器外科
専攻医



ささき としひで
佐々木 俊秀

麻酔科
副部長



くりた なおこ
栗田 直子

泌尿器科
医長



いわもと たかし
岩本 崇史

整形外科
医長



すぎもと ひろのり
杉本 啓紀

集中治療科・循環器内科
医員



あまの しほ
天野 志保

小児科
医員



おおにし はるな
大西 遥菜

総合内科
フェロー



かわむら けんや
河村 健矢

総合内科
専攻医



いけもと としまさ
池本 利真

放射線科
専攻医



もりさわ いっぺい
森澤 一平

呼吸器内科
専攻医



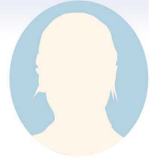
なかがわ やすひと
中川 靖仁

腎臓内科
専攻医



みやもと なおこ
宮本 直子

腎臓内科
専攻医



みやもと やすこ
宮本 靖子

初期臨床研修医

臨床研修医



いまい ようた
今井 陽太
奈良県立医科大学卒

臨床研修医



おおひがし じゅんたろう
大東 純太郎
奈良県立医科大学卒

臨床研修医



しばた かずみ
柴田 和美
奈良県立医科大学卒

臨床研修医



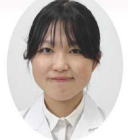
たきざわ みさき
滝澤 美咲
奈良県立医科大学卒

臨床研修医



なんの やすのぶ
南野 恵伸
徳島大学卒

臨床研修医



ほそかわ みゆ
細川 美侑
大阪公立大学卒

臨床研修医



ますだ さき
増田 早希
川崎医科大学卒

臨床研修医



やまぐち みく
山口 美空
鳥取大学卒

臨床研修医



よしまつ りょうま
吉松 伶真
川崎医科大学卒

臨床研修医



わたなべ みずき
渡邊 瑞貴
奈良県立医科大学卒

臨床研修医



いとう ひろき
伊藤 広輝
奈良県立医科大学卒

臨床研修医



こもぶち りょう
菰渕 諒
佐賀大学卒

臨床研修医



やまな ちひろ
山名 智尋
奈良県立医科大学卒

